

# くすりのしおり

外用剤

2020年02月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

## 商品名：モメタゾン点鼻液 50 $\mu$ g 「CEO」112 噴霧用

主成分：モメタゾンフランカルボン酸エステル水和物 (Mometasone furoate hydrate)

剤形：定量噴霧式の点鼻剤、(本体) 白色、(キャップ) 青緑色

シート記載：モメタゾン点鼻液 50 $\mu$ g 「CEO」112 噴霧用



## この薬の作用と効果について

合成副腎皮質ステロイド剤で、抗アレルギー作用、抗炎症作用があり、鼻粘膜に直接作用し、炎症を抑えて鼻症状（くしゃみ、鼻水、鼻づまり、鼻内のかゆみなど）を改善します。

通常、アレルギー性鼻炎の治療に用いられますが、十分な効果が現れるまでには数日かかります。

## 次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。感染症、全身の真菌症、結核性疾患、眼の単純ヘルペス、反復性鼻出血（鼻血を繰り返す）がある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

## 用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
  - ・成人：通常、各鼻腔内に1回2噴霧ずつ（主成分として200 $\mu$ g）を1日1回噴霧吸入します。
  - ・12歳未満の小児：通常、各鼻腔内に1回1噴霧ずつ（主成分として100 $\mu$ g）を1日1回噴霧吸入します。
  - ・12歳以上の小児：通常、各鼻腔内に1回2噴霧ずつ（主成分として200 $\mu$ g）を1日1回噴霧吸入します。
- いずれの場合も、必ず指示された使用方法に従ってください。
- ・携帯袋に入れ、使用する時は、使用説明書をよく読んで使用してください。
  - ・容器の先端部分を針などで絶対に突かないでください。先端の穴が破損し、噴霧できなくなります。
  - ・使い忘れた場合は、気がついた時点で忘れた1回分を使用してください。ただし、次に使用する時間が近い場合は、次の1回分を抜いてください。絶対に2回分を一度に使わないでください。
  - ・誤って多く使用した場合は医師または薬剤師に相談してください。
  - ・医師の指示なしに、自分の判断で使用するのを止めないでください。

## 生活上の注意

## この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、鼻症状（刺激感、かゆみ、乾燥感、痛み、発赤など）、咽喉頭症状（刺激感、痛み、不快感、乾燥など）、鼻出血などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[ ]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・呼吸困難、じんましん、全身のかゆみを伴った発赤 [アナフィラキシー]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

## 保管方法 その他

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。

## 医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。